

ヒダアザミ

Cirsium tashiroi Kitam. var. *hidaense* (Kitam.) Kadota

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内では生育地、個体数が少ない。

分布

国内では本州（中部地方）に分布する。大野市。

種の特徴

花時に根生葉はある。葉は広倒披針形で先は尖る。葉はときに羽状に分裂する。茎の高さ20～50cm、茎葉の裏はやや白っぽく、基部は茎を抱く。頭花は大きく径3～4cm。総苞は鐘形、苞片は線形～線状披針形、斜上～開出、外片は一部反曲する。

生育を脅かす要因

登山道の整備、植生遷移等。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、佐竹義輔ほか（1981）、門田裕一（2013）
若杉孝生（1975）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

フジバカマ

Eupatorium japonicum Thunb.

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

生育地が減少している。

分布

福井市、大野市、勝山市、永平寺町、越前市、越前町。国内では各地にそれぞれ少数の自生が確認されているが、全国的にも絶滅危惧種とされている。

種の特徴

地下茎は横に這い、茎の高さ100～150cm、上部で分枝、葉は長楕円状披針形、長さ8～13cm、普通3深裂する。頭花は枝先に散房状につき、白色または深紅紫色。総苞は細筒形で、片はほぼ10個。

生育を脅かす要因

改変が加えられること等により自生地の減少がすすむ。河川敷の開発、園芸採取。また園芸種等の逸出もあるので遺伝子汚染に注意を要する。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、佐竹義輔ほか（1981）、矢原徹一ほか（2015）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○			○		○			○	○	○

アキノハハコグサ

Gnaphalium hypoleucum DC.

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

森林伐採、山道整備などで環境が悪化、生育数が少ない。

分布

国内では各地に点在するが、多くはない。おおい町、越前町、永平寺町、坂井市、福井市、大野市に分布する。

種の特徴

乾いた山間の草地に生える。茎は高さ30～60cm。上部で分枝する。葉は披針形、長さ4～5cm、基部は少し茎を抱く。裏面は密に白毛がある。頭花は散房状につき、総苞は長さ4mmほどの球鐘形、片は5列、外片は白毛が多い。

生育を脅かす要因

山道の整備、山林の伐採、植生遷移等。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、矢原徹一ほか（2015）、畔上能力ほか（2013）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○					○			○	○					○	○